

平成 23 年度 東北大学大学院情報科学研究科

博士研究員 研究構想発表会

以下の日程で博士研究員構想発表会を開催いたします。博士研究員の「今までの研究成果」と「今後 1 年の研究構想」を発表いたします。教員・学生は問いません。お時間の許す方はふるってご参加ください。

日時: 5 月 12 日 (木) 13:00~14:30 (1 人発表 20 分、質疑応答 10 分)

場所: 情報科学研究科棟 7 階 リフレッシュスペース

プログラム(司会: 徳山豪 教授)

須田庄/ 情報基礎科学(13:00~13:30)

“球面上の点の配置について”

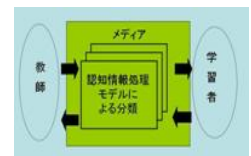
球面を近似する良い有限個の配置はなにか、という問題を数学的にとらえるために球面上のデザインの概念があります。正多角形や正多面体は非常にきれいな配置といえますが、本発表ではどのように定式化すればよいのか、また他の空間での拡張などを最近の研究と交えて紹介します。



行場絵里奈/ 人間情報学・学習心理情報学(13:30~14:00)

“人間の基本的認知特性に基づく教授メディアの評価と学習過程における誤り修正法の実用研究 “

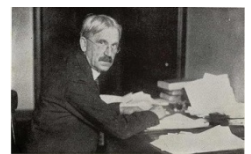
ICT の革新、普及、教育システムの多様化により、種々の教育メディアの活用性を検証する重要性、学習者の内部で行われる理解の活動と知識の形成を解明する重要性が高まってきており、さらに理解のずれや誤解、わかりにくさが生じた場合に、相互調整の困難さが増すような場面が生じます。本発表では、教授メディアを拡張するものとされている認知プロセスに基づいた教授メディアの評価方法と、誤りを修正する学習方法の検証計画を紹介します。



何淑珍/ 社会構造変動論(14:00~14:30)

“社会倫理とトランザクショナルな関係”

グローバルな現代において、社会倫理とは何か？本発表では、ジョン・デューイのトランザクショナルな関係という概念枠組みによりながら、背景となる社会構造とのかかわりから倫理をとらえ直します。



問合せ先 行場絵里奈 e-gyoba@cog.is.tohoku.ac.jp